

## 第175回: 習近平の虎退治

手首の粉碎骨折からはや半年、60キロを超えていた右手握力が、昨日測ったら37キロだった。4月初旬に抜釘した直後の握力が20キロにも届かなかったことを考えると大きな進歩だが、まだ痛みが完全に取り除けず、2001年の上海日本人会主催ゴルフコンペで、アウト=302ヤード、イン=296ヤードのドラコン新記録を叩きだした剛腕の復活は無理かもしれない・・・歳も歳だし。そんなアクシデントに見舞われたこともあり、ここ暫く中国から足が遠ざかっている。現地のフィールド・ワークをさぼり、三寸不爛の舌を以て中国を語るようではチャイナウォッチャーとしては失格だ。漁師が風向きで天候を占うように、中国の街角を歩き、現地の雰囲気を感じ取る重要性は、現地の専門家にインタビューするより遥かに重要である。取引先訪問は出張のアリバイ作りには有効だろうし、中国を初めて知るビギナーは効果的かもしれないが、専門家にとってあまり役には立たない。似たような話だが、国際ニュースを分析するとき、人民日報の第一面を飾るニュースよりも、二面か三面の隅っこに載る小さな記事の方が遥かに重要なニュースであることが多い。特に中国のように情報が制限され、且つ意図的に操作される社会主義国においては。

この6月23日、中国の国営新華社が極めて短く、素っ気ないニュースを配信した。全部入れても50字に届かない最短ニュースだ。「**新華網 北京6月23日電。記者從中央紀委獲悉、四川省文聯主席郭永祥涉嫌嚴重違紀、目前正接受組織調查**(新華社北京6月23日、中央紀律検査委員会によると、四川省文学芸術界連合会の郭永祥主席が嚴重な紀律違反容疑で中央紀律検査委員会の取り調べを受けている)」。たったこれだけのベタ記事だが、大事件に発展する可能性のある不気味なニュースだ。この郭永祥なる64歳の人物は、文学芸術連合会という肩書が示す文人墨客タイプの人物ではなく、2007年まで四川省人民政府の副省長を勤めていた大物政治家だ。

もちろん大物と云ってもチャイナセブンのような超大物ではない。台湾、香港、マカオを除外すれば、中国に31の省市自治区があり、四川省はそのひとつ。省の最高権力者は人民政府の省長ではなく、共産党の書記である。即ち、中国共産党四川省省委員会の筆頭が書記、その下に副書記が2名いて、上席副書記が省人民政府のトップである省長を勤め、もう一人の副書記が党務専従に廻る。つまり省の二番手が省長であり、その省長の下に、四川省の場合は副省長が8人もいる。そのなかの一人が、いま取調べ中の郭永祥だ。中国における彼のステイタスを中国流で表現すると「部長級」の下で、「局長級」よりは上の「副部長級」、日本語に直すと閣僚と、局長に挟まれた「次官級」とでも云うのだろうか。

中国で鬼より怖い中央紀律検査委員は、クロだと確証を得てから取調べを始めるので、郭永祥が監獄にぶち込まれるのは当確だ。問題は彼の肩書ではなく、これまでの経歴にある。郭永祥は去年まで党政治局常務委員(序列9位)を勤めてきた公安諜報の大ボス周永康の秘書だった人物である。油田で働く労働者に過ぎなかった郭永祥の運が開かれたのが1980年代。周永康が勝利油田(山東省)の書記に就任すると、彼は弁公室秘書に抜擢される。周永康はその後エリートコースを驀進するが、爾来郭永祥は周永康の側近として彼に付き従うようになる。周永康がペトロチャイナ(H00857)の総経理、国土資源部長、四川省党書記

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

と昇進を重ねる傍で、秘書室長のような役目を20年近くに亘って勤めたのが郭永祥であり、彼は周永康の全てを知る人物と云ってもよいだろう。

昨年、成都のアメリカ総領事館への亡命騒ぎ、英国人ビジネスマン毒殺事件で幕を開けた政治局委員・重慶市書記の「薄熙来事件」。ポスト胡錦濤で最高指導部入りが確実視されていた薄熙来は、この事件で息の根を止められることになるのだが、彼の処分を巡り最後まで薄熙来に同情し、厳罰処分に反対したのが、公安のボスの周永康だったと云われている。その後、薄熙来は完全に失脚したが、連座が疑われた周永康は無事ハッピー・リタイアメントに成功した、もしくは成功したと思われていた、これまでは。

暗黙の了解かどうか、中国では党指導者の犯罪が露見したとき、政治局委員は「死刑だけは免れ」、政治局常務委員は「特権として刑事訴追を免れる」と云われてきた。

胡錦濤前国家主席が4月下旬に某所で、彼が統治した10年間に回顧する最後の内部講話を行い、そのなかで「改革実行に全力で取り組んだが、既得権益層に阻まれた」と発言、いまでも上海閥を指揮して権力に固執する江沢民元主席を批判したと云われている。

胡錦濤の後を引き継いだ習近平も、腐敗摘発には特別の決意で取り組んでいるようで、「虎も蠅も叩く」と、蠅のような小者はもちろん、仮令政府高官のような虎でも容赦しないと宣言している。最近党中央が発信する通達のなかから、これまで決まり文句として自動的に挿入されていた江沢民提唱の「三つの代表理論」が外されており、習近平が江沢民と一線を画そうとする証左だと見られている。習近平が断固実行すると宣言した「虎退治」の「虎」が周永康を指すことは中国ネチズンの世界では常識だという。中国のヒエラルキーを構成する政治局常務委員は、習近平時代に入り、9人から7人に削減されたが、そのとき常務委員ポストから政治局委員管掌に格下げされた職位が国家副主席と、周永康傘下の公安・諜報・武装警察を総覧する「政法委員会書記」であったことで、平仄も合っている。

今回の郭永祥事件が、周永康の身边にどのような影響を及ぼすか予測はできないが、党中央が周永康にクロの判断を下したことは間違いないだろう。今年3月に開かれた全人代が閉幕し次第、始まるだろうと云われていた薄熙来裁判は、これまでピクリとも動かなかった。その理由につき同氏の健康悪化、ハンスト説等の噂が飛び交ってきたが、薄熙来との司法取引が難航している可能性が高い。司法取引成立を阻害隘路が郭永祥事件によって取り払われた可能性があるのではないだろうか。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年6月27日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。